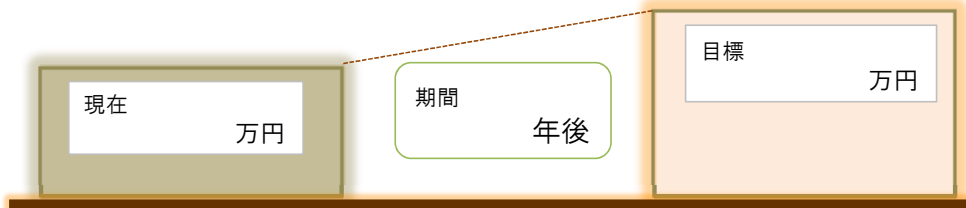


- お金は人生の目標を達成するためのツールの1つです。投資はそのお金を成長させる効果のある「利回り」を求めるための手段の1つです。
- 目標を達成するためには、ある程度の必要な「利回り」と、投資する時期を分散させる「時間」を考えておく必要があります。

## あなたの目標金額は？



## 目標達成のために必要な利回りは？

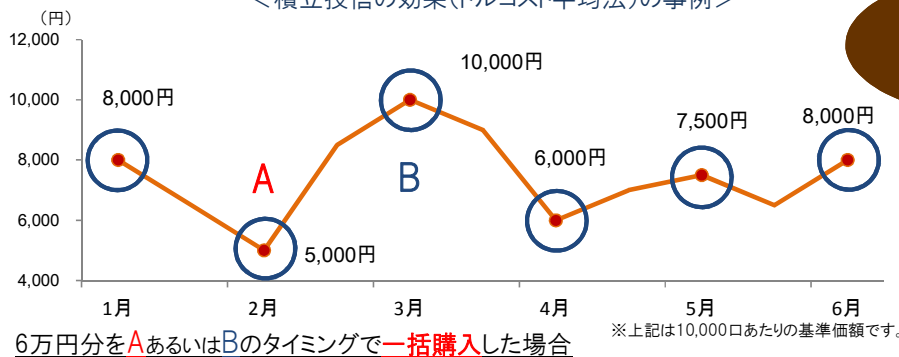
＜10年間の投資で1,000万円貯めるのに必要な年率利回り＞

		毎月の積立投資額							
		なし	1万円	2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
当初の投資資金	なし		34.4%	24.4%	18.1%	13.4%	9.6%	6.3%	3.4%
	100万円	23.2%	18.9%	15.1%	11.7%	8.7%	6.0%	3.5%	1.1%
	200万円	16.2%	13.3%	10.6%	8.1%	5.7%	3.5%	1.4%	
	300万円	12.1%	9.8%	7.6%	5.5%	3.5%	1.6%		
	400万円	9.2%	7.3%	5.4%	3.5%	1.7%			
	500万円	7.0%	5.2%	3.5%	1.9%	0.3%			
	600万円	5.1%	3.6%	2.0%	0.5%				
	700万円	3.6%	2.1%	0.7%					
	800万円	2.2%	0.9%						
	900万円	1.1%							

利回りが0%以下となる組み合わせについては試算結果を記載しておりません。上記シミュレーションの計算については、当初の投資資金、毎月積立金額をそれぞれ年率利回りを12で除して月次利回りとし、10年後に達するまでの間、毎月複利で増えていく(という前提)で計算しております。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。上記表はシミュレーションであり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。

## 投資時期を分散させて“時間を味方につける”運用を考えてみよう！「積立投信(ドルコスト平均法)」

＜積立投信の効果(ドルコスト平均法)の事例＞



Aのタイミングで購入した場合  
10,000口あたりの購入単価：**5,000円**

Bのタイミングで購入した場合  
10,000口あたりの購入単価：**10,000円**

毎月1万円を1～6月の半年間積立した場合

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
購入金額	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	60,000円
購入口数	12,500口	20,000口	10,000口	16,667口	13,333口	12,500口	85,000口

$$10,000\text{口あたりの平均購入単価} \approx 7,059\text{円} \approx \frac{60,000\text{(円)}}{85,000\text{(口)}} \times 10,000\text{(口)}$$

定期的な日々に一定額ずつ、同一の投資信託を購入していく方法

価格変動が大きい投資対象にベストのタイミングで投資するのは至難の業です。しかし、市場の振れに対して一定金額を定期的に投資することで購入単価を平準化することができ、高い時にまとめて投資をしようリスクを避けることができます。

## 「積立投信」はこんな方におススメ！

投資ははじめてでよくわからないという方

はじめての方にもおススメ  
毎月1,000円※から始められる

投資のタイミングが難しく、なかなか買付ができないという方

毎月決まった額を買付！ドルコスト平均法で購入単価の平準化をめざす

忙しくて時間がない方

一度の設定で手続き完了あとは、毎月自動買付！

※店頭は5,000円からとなります。

※長期にわたり基準価額が上昇または下落した場合はその時間分散効果は得られないことがあります。  
※上記はシミュレーションの際に設定した条件であり、実際の運用成果とは異なります。また、税金・手数料等を考慮しておりません。  
※積立投信は将来の収益を保証したり、相場下落時における損失を回避するものではありません。

■ 上記は、過去の実績・状況、作成時点での見通しまたは分析です。これらは、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料・取引コスト等を考慮しておりません。



積立投信を始めるなら「インターネット」取引はいかがでしょう！

裏面へ

★★＜インターネットで投資信託の主なポイントは2つ＞★★

1 取引の場所・時間を問いません

投資信託の購入に当たって、日中の営業時間内に証券会社や銀行へ出向いて取引をする必要がありません。好きな場所で、好きな時間にパソコンやスマートフォンを使ってインターネット上で取引が可能です。



2 窓口にはないサービスが提供されることも

窓口で説明する時間を省く代わりに、購入時手数料が無料または割引かれている商品の取扱いや、ネット経由でしか買えない専用商品等、ネット向け投資信託ならではのサービスが数多く準備されています。

※ファンドへの投資には商品毎に異なるリスクがある点にご留意ください。  
※提供されるサービスの詳細については、静岡銀行投資信託デスク(0120-104813)にお問い合わせください。

OnePoint

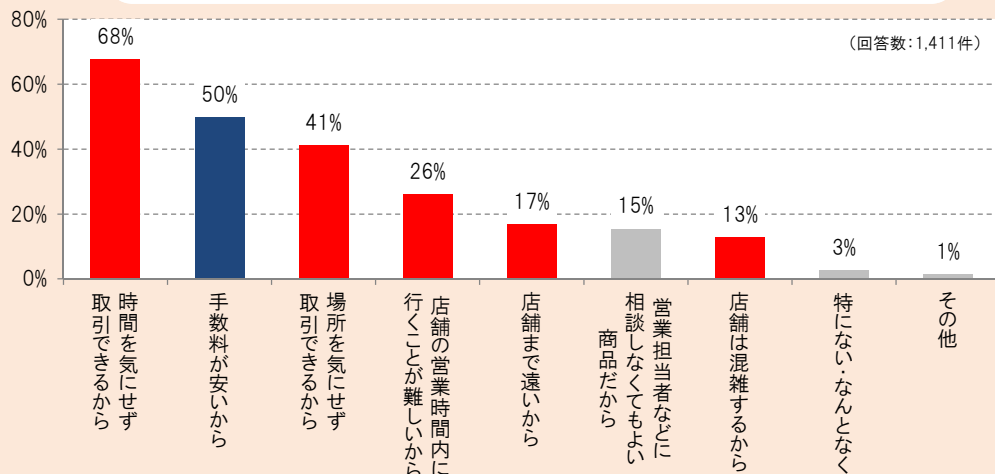
インターネットで投資信託を購入している人に聞きました

既にインターネットで投資信託を購入している人が感じているメリットを分類すると、

- ①時間・場所等の制約から解放されること
- ②手数料が安いこと

が上位を占めています。特に①は忙しいみなさまには是非とも手にしていただきたいメリットです。

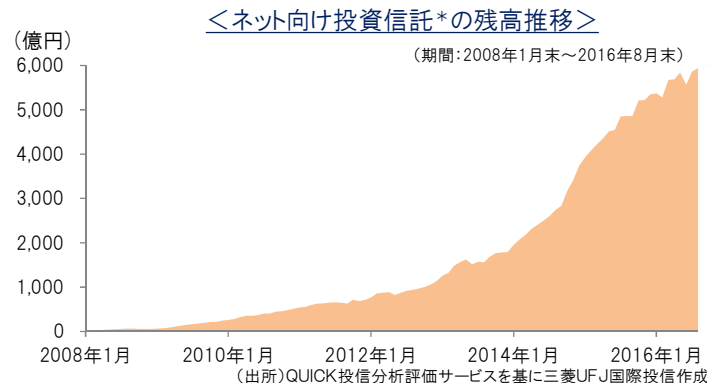
【質問】インターネットで投資信託を購入している理由は何ですか。(複数回答)



(出所)三菱UFJ国際投信実施「インターネットでの投資信託購入者実態把握調査」(2015年3月実施)

ネット向け投信の残高が増えてます

インターネット取引での取扱いを主体とする運用コストの低いインデックスシリーズ(ネット向け投資信託)の残高が5,000億円超に伸びており、投資家の皆様からの支持を集めていることがわかります。



\*「ネット向け投資信託」とは、eMAXIS(三菱UFJ国際投信)、SMTインデックス(三井住友トラスト・アセットマネジメント)、Funds-i(野村アセットマネジメント)、購入・換金手数料なしシリーズ(ニッセイアセットマネジメント)、インデックスe(三井住友トラスト・アセットマネジメント)、ダイワ・インデックスセレクト(大和投資信託)、EXE-i(SBIアセットマネジメント)、i-mizuho(ブラックロックジャパン)、たわらノーロード(アセットマネジメントOne)です。

留意事項

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としているため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補充書面等をご確認ください。

◎投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただけます。

■購入時(ファンドによっては換金時)に直接ご負担いただく費用

・購入時(換金時)手数料 … 上限 3.24%(税込)

※一部のファンドについては、購入時(換金時)手数料額(上限 37,800円(税込))を定めているものがあります。

■購入時・換金時に直接ご負担いただく費用

・信託財産留保額 … ファンドにより変動するものがあるため、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

・運用管理費用(信託報酬) … 上限 年3.348%(税込)

※一部のファンドについては、運用実績に応じて成功報酬をご負担いただく場合があります。

■その他の費用・手数料

上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補充書面等でご確認ください。

※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を表示することができません。

お客さまにご負担いただく費用の合計額もしくはその上限額またはこれらの計算方法は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の利率につきましては、三菱UFJ国際投信が運用するすべての公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の利率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)、目論見書補充書面等をご確認ください。

本資料に関してご留意いただきたい事項

■本資料は、資産運用等についてのご理解を深めていただくために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。／本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。■クロースト期間のある投資信託は、クロースト期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

| 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

| 設定・運用は



株式会社静岡銀行  
登録金融機関 東海財務局長(登金)第5号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会